

プロダクティブ・エイジング トピックス 2019

—海外情報—

10月



海外のイベント

●世界:2019年国際高齢者デーの記念イベントが各地で開催

2019年国際高齢者デー「The Journey to Age Equality(あらゆる年齢層への平等に向けた旅路)」を記念して、世界各地でイベントが開催された。上記ページでは、ニューヨーク、ジュネーブ、ウィーンなどで行われた国連イベントやサイドイベントについて、動画や報告書などが閲覧可能である。

- <https://www.un.org/development/desa/ageing/international-day-of-older-persons-homepage/2019unidop.html>



ILC グローバル・アライアンス関係のイベント

●WHO&ILC-UK:WHO 神戸センターと英国の協力機関が、ユニバーサルヘルスカバレッジ促進に向けての研究について討議(ロンドン)

WHO 神戸センター(WKC)のポール・オン技官はロンドンを訪れ、英国の一連の協力機関と会合を開き、人口高齢化に照らしたユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)の実現に向けた、保健医療サービスの提供、資金調達と革新に関する WKC の研究について討議した。ヘルプエイジ・インターナショナル(ロンドン事務局)、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン、キングス・カレッジ・ロンドン、欧州保健制度政策研究所、英国国際長寿センターにてセミナーを開催し、UHC 実現に向けての WKC の研究課題に関して説明すると共に、人口の高齢化が UHC に与える影響について、活発な議論が行われた。慢性進行性疾患を患う高齢者に対する複数の分野にまたがる継続的なケアシステムを構築するにあたっての課題について、WKC が進める研究「サービスと生活の質の最適化を目指したサービス提供モデル」に基づき検討された。

- https://extranet.who.int/kobe_centre/ja/news/UHCPartners_London



●欧州:EUの都市…最も「若い」都市、最も「高齢な」都市

EUでは2017年現在、年少人口指数が35%であった。つまり平均すると、若者(19歳以下)1人に対して生産年齢の人口が3人いる、ということである。また老年人口指数は若干低く、33%だった。都市レベルで見ると、EUで最も「若い」のはブリュッセルで、年少人口指数が40%、続いてパリとダブリンが39%だった。フランスや英国では多くの都市で、年少人口指数が高かった。他方、ドイツやルーマニアでは同指数が低かった。老年人口指数が最も高かったのはリスボン(41%)であり、ローマ(36%)やバレッタ(マルタ、34%)を超えた。

- <https://ec.europa.eu/eurostat/web/products-eurostat-news/-/EDN-20191030-1?inheritRedirect=true&redirect=%2Feurostat%2Fnews%2Fwhats-new>

●英国:増加する高齢者の性感染症(STI)に取り組むソーシャルメディアキャンペーン

2014-2018年の間に、STIの新たな診断は20-24歳の男性で7.3%減少したが、45-64歳の男性では13.9%増加した。また65歳以上の男女では、23%増加している。これらのデータから、STIが高齢者の間で大きな問題であることが分かるが、高齢期の性についてはタブー視されている点も多い。高齢者の性に関するネガティブなステレオタイプへ対応するため、Age UKではマンチェスターに拠点を置く機関と共同で、ソーシャルメディアキャンペーンを展開している。このキャンペーンは、国際高齢者デー(10月1日)を中心に9月30日から5日間にわたり行われ、性の安全性や、年齢にかかわらず予防を行う必要性、ヘルスサービスへのアクセスなどのテーマを取り上げる。

- <https://www.homecare.co.uk/news/article.cfm/id/1615758/Age-uk-calls-for-an-end-to-the-stigma-which-surrounds-sex-in-later-life>
- <https://www.ageuk.org.uk/latest-press/articles/2019/october/as-stis-in-older-people-continue-to-rise-age-uk-calls-to-end-the-stigma-about-sex-and-intimacy-in-later-life/>

●英国:今後25年で85歳以上人口が倍増の見込み

国家統計局(ONS)によると英国の人口は、2018年には6,640万だが2028年には

6,940 万へと今後 10 年で 300 万(4.5%)増加すると見込まれる。一方で 85 歳以上人口は、2018 年の 160 万から 2043 年には 300 万へと、今後 25 年間で倍増すると予測される。このデータから、ソーシャルケアの更なる悪化が懸念される。

- <https://www.telegraph.co.uk/news/2019/10/21/number-85s-uk-double-25-years-amid-fears-social-care-crisis/>
- <https://www.ons.gov.uk/peoplepopulationandcommunity/populationandmigration/populationprojections/bulletins/nationalpopulationprojections/2018based> (ONS データ)

●マルタ:マルタの首都で高齢観光客用に無料スクーターを貸し出し

マルタの首都バレッタでは 60 歳以上の観光客向けに無料でスクーターを貸し出す、と同市議会が発表した。モビリティに困難を抱えるこの年齢層へ対応するための試験的事業である。

- <https://www.themayor.eu/en/free-scooters-for-seniors-who-want-to-visit-valletta>

●米国:Lyft(ライドシェア会社)がメディケイド非緊急医療輸送サービスを更に 5 州拡大

Lyft はこの度、メディケイドでの非緊急医療輸送サービスを更に 5 州(ジョージア、ミシガン、テネシー、バージニアおよびミズーリ)拡大する。これにより、利用者がさらに 900 万人増える見込まれる。

- <https://www.fiercehealthcare.com/tech/5-more-state-medicaid-programs-sign-lyft-for-nonemergency-transport>

●米国:高齢者による家族からの詐欺被害とその対策

ある女性が 25 歳の孫と銀行にやってきた。この女性は自分の口座からその孫の口座へ 4,000 ドル移したいと言っている。このようなケースの場合、孫は詐欺を行っているか？そして銀行はそれを止めるために何かできるか？この 2 つの疑問に対する答えは、両方とも「おそらく Yes」である。AARP の調査によると、経済的搾取の平均被害額は 12 万ドルである。この問題に対して AARP では、経済的搾取の予防策として、顧客と接する最前線で働く銀行やクレジットユニオンの従業員向けにオンライン研修モジュール AARP BankSafe を開発した。このモジュールは金融機関へ無料で提供され、研修に活用できる。上記ウェブサイトからも研修の情報や実施報告書が閲覧可能。

- <https://www.freep.com/story/money/personal-finance/susan-tompor/2019/10/16/aarp-banksafe-scam-financial-exploitation-elderly/3901379002/>

- <https://www.aarp.org/ppi/banksafe/?INTCMP=RDRCT-PPI-OTHER-FINANCE-053118> (AARP の取り組み情報。報告書もあり)

●米国:大学生と高齢者をマッチングさせ孤独に対応

シリコンバレーのベンチャー [Mon Ami](#) では、アプリを通じて地域の大学生と高齢者をマッチングさせ、両者の孤独問題に取り組んでいる。これまでに 500 名を超える大学生たちが、250 名を超える高齢者とつながった。学生たちは両者にとって都合の良いスケジュールで高齢者を訪問し、時給 20ドルを得る (Mon Ami ウェブサイトでは、高齢者の支払いは時給 25ドル)。孤立は特に 18-22 歳と高齢者で多く見られる、と最近の調査で示されている。

- <https://www.theguardian.com/us-news/2019/oct/07/california-loneliness-mon-ami-app>

●米国:「Best States For Aging(高齢期を過ごすのに最適な州)」ランキング

人口の高齢化が進む中、US News では「Best States for Aging」をランク付けし、各州がどのように高齢化の様々な面 (健康、経済、社会参加など) に対応しているか比較した。ランク付けの要素は、米国疾病管理予防センター (CDC) や統計局など様々なデータに基づいて 12 項目あり、その中には例えば 65 歳時の平均余命、高齢者の主観的健康・身体活動・精神的健康・失業率、ケアの費用、ナーシングホームの質、生活費などが含まれる。これらの全体的な平均で州をランク付けしたところ、メイン州がトップであった。

- <https://www.usnews.com/news/best-states/articles/2019-09-30/states-focus-on-rise-of-elderly-populations>
- <https://www.usnews.com/news/best-states/rankings/aging>

●韓国:Samsung が高齢者や患者向けミールキットを発売

Samsung は、ブランド名 Lala Meals でシニア向けミールキットを発売する。このミールキットは、病気の人や高齢者、および健康上のニーズがある人たちを対象としている。いわゆる「Care Food (ケアフーズ)」は、健康上の理由で栄養管理が必要な顧客向けの家庭料理を意味する、新たなコンセプトである。高齢化が急速に進む韓国では、ケアフーズ市場も急速に拡大しており、政府の農林畜産食品部が昨年行った調査によると、2011 年には 5,104 億ウォンだったのが 2015 年には 7,903 億ウォン、そして 2017 年には 1 兆ウォンに達したとみられている。

- <https://pulsenews.co.kr/view.php?year=2019&no=784639>

●シンガポール:デジタルヘルスケア事業者がオンデマンド在宅ケアプラットフォーム

ームと提携

デジタルヘルスケア事業者の [WhiteCoat](#) は、オンデマンド在宅ケアサービスプラットフォームの [Homage](#) と提携し、高齢患者向けの在宅ケアを目指すテレヘルスプログラムを試験的に行うこととなった。このプログラムでは、高血圧や高脂血症、糖尿病など高齢患者の慢性疾患や症状の管理改善を目指しており、患者は自宅から出なくても医療サービスを受けられるようになる。WhiteCoat のモバイルアプリでは Homage 利用者へ様々なサービスを提供し、その中にはたとえば遠隔での相談、医療紹介状や処方箋の発行、配剤などが含まれる。

- <https://e27.co/whitecoat-homage-join-forces-to-launch-chronic-disease-t-elehealth-programme-aimed-at-elderly-patients-20190930/>

●オーストラリア:人口が高齢化する一方で高齢者介護施設の看護師が減少

2001 年以降、65 歳以上の人口は約 100 万人増加したが、一方で高齢者介護施設の登録看護師(常勤換算数)は 2003 年以降 13%減少した、と Australian College of Nursing は王立委員会に警鐘を鳴らした。2003-2015 年の間に、高齢者介護施設は 30%増加、また入居者の依存レベルで「高」と評価された人の割合は、64.4%から 89%に増加した。高齢者介護部門での課題には、たとえば急性期病院との賃金格差、臨床でのスーパービジョン不足、高齢者ケアに対する意識、スタッフ教育の支援不足などが挙げられる。

- <https://www.miragenews.com/as-australians-grow-older-number-of-aged-care-nurses-is-declining/>

●G20:岡山保健大臣会合で大臣宣言が採択

岡山市で開かれていた 20 カ国・地域(G20)保健相会合は 10 月 20 日、岡山保健大臣会合宣言を採択し、閉幕した。高齢化社会への対策と、全ての人に基礎的な医療を保障するユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)の達成を柱に合意した。高齢化対策は、G20 保健相会合で初めて主要テーマとして議論。健康寿命の延伸のため若年期からの予防施策を重視し、各国の認知症に関する行動計画策定を表明した。宣言では、国連で 2030 年までの UHC 達成を目標にしながら実現が見通せない現状も踏まえた。デジタル技術を活用し、途上国支援などに各国が連携して取り組むことを確認。また、既存の抗生物質が効かない薬剤耐性菌の対策も宣言に盛り込んだ。

- https://g20-meeting2019.mhlw.go.jp/health/jp/img/G20Okayama_HM_EN.pdf
(宣言英語)
- https://g20-meeting2019.mhlw.go.jp/health/jp/img/G20Okayama_HM_JP.pdf
(宣言和訳(仮))

➤ <https://www.jiji.com/jc/article?k=2019102000276&g=soc> (時事通信記事)

●英国:社会的処方:新たな国立アカデミーの設立

医療ケアと同様に NHS で社会的処方をあらゆる患者が受けられるようにする、という大望の実現に向けて、国立アカデミー設立の取り組みが始まる。社会的処方は、地域サービス(芸術や歌のクラスなどの活動を含む)へつなげることにより、患者の健康やウェルビーイング、福祉向上に役立つ。社会的処方国立アカデミー(The National Academy for Social Prescribing)では、以下に取り組む予定である。

- ◇ 全国の患者が利用できる社会的処方の質や範囲を標準化する
- ◇ エビデンスの構築や推進によって、社会的処方の利点に関する認知を向上させる
- ◇ ベストプラクティスを展開および共有し、新たなモデルや財源を検討する
- ◇ 医療分野、住宅分野、地方政府および芸術・文化・スポーツ団体のパートナーたちをまとめ、社会的処方の役割最大化を図る
- ◇ 部門を横断した研修や認定の展開に重点を置く

➤ <https://www.gov.uk/government/news/social-prescribing-new-national-academy-set-up>

●英国:成人向けソーシャルケアの人材確保キャンペーン:次の段階を開始

保健福祉省による「あなたがケアすると毎日が変わる [When you care, every day makes a difference](#)」キャンペーンの次のステージでは、成人向けソーシャルケアで 12.2 万の空席を埋めることを目指す。このキャンペーンはまず 2 月に始まり、この部門に新たな人材を引き込むとともに、職業として成人向けソーシャルケアへの関心を高めることを目指している。キャンペーンでは引き続き 20-39 歳の人たちに的を絞り、この分野におけるキャリアの利点について認知を高める。同省が 2020 人の成人を対象に最近行った調査では、イングランドの 18-34 歳の人たちが、成人向けソーシャルケアの仕事へ応募するよう検討する確率が最も高いことが示された。同分野では 150 万近くの人が働いているが、人口高齢化によって、2035 年までに更に 58 万人が必要とされる。この分野で働く人の平均年齢は 45 歳である。また 55 歳以上の就労者は 38.5 万人で、この人たちは今後 10 年間で退職する可能性が高い。

➤ <https://www.gov.uk/government/news/next-phase-of-adult-social-care-recruitment-campaign-begins>

●スペイン:スペイン政府が全国認知症計画を発表

保健・消費・社会福祉省は 2019 年 10 月、全国認知症計画の採択を発表した。この

計画は世界で33番目に採択されたものであり、認知症への意識向上、人間中心の医療・社会的ケア、サービス・サポート・給付、研究・イノベーション・知識の推進に向けた主要ターゲットが組み込まれている。この計画で重点を置かれているのは、医療システムにおける診断能力の向上であり、これはサービスへのアクセス向上や診断率50%というWHOの目標達成にとって、極めて重要である。現在は、40歳以上の70万人以上がアルツハイマーなどの認知症と共に生活しており、この数は2050年には200万に増えると予測されている。

- <https://www.alz.co.uk/news/spanish-government-launches-national-plan-to-tackle-dementia>

●カナダ:ブリティッシュコロンビア州が高齢者介護の人材養成へ資金提供

ブリティッシュコロンビアの州政府は、高齢者介護を担う人材養成へ、さらに364万ドルを投入する。この資金は今後2年にわたり支給され、介護助手、地域保健職員、その他高齢者を支援する職員418人分の養成に向けて高等教育機関に行き渡る。同州の大学や単科大学14校が、さらなる介護職員養成に向けてこの資金を受給する。

- <https://bc.ctvnews.ca/b-c-announces-3-64m-to-train-more-caregivers-for-seniors-1.4645187>

●韓国:65歳への定年引上げ案-高齢者の40%が貧困とのOECD報告を受けて

OECD加盟国の中で高齢者の貧困率が最悪レベル(40%超)との報告を受けて、韓国政府は定年を60歳から65歳まで引き上げる案を出した。同国で高齢者の貧困率が高い背景要因の一つは、社会福祉制度の欠如である。たとえば年金制度では、高齢者に十分なセーフティーネットを保障できていない。多くの高齢者は、低賃金で不安定な仕事に就かざるを得ない状況である。しかし、この変更によって若者の雇用問題など労働市場が混乱するとともに経済格差が拡大する可能性を、専門家たちは指摘する。

- <https://www.theonlinecitizen.com/2019/10/15/s-koreas-bid-to-raise-retirement-age-draws-criticism-analysts-warn-against-potential-repercussions-to-economy-and-labour-market/>



海外／国際機関の報告書・ガイドブックなど

●世界:国連報告書「World Population Ageing 2019」

国連社会経済局が World Population Ageing 2019 を発表し、世界が更に高齢化していることが示された。世界の 65 歳以上人口は、現在は約 7 億だが、2050 年には 15 億に達すると予測される。また 65 歳以上の割合は、2019 年には 1/11 だが、2050 年には 1/6 になると予測される。80 歳以上人口は、今後 30 年間に 3 倍になるだろう。すべての国々で、その段階は違うものの、この「長寿革命」の真ただ中にある。人口高齢化に関する正確で一貫性がありタイムリーなデータは、適切な政策優先事項の策定や高齢者のウェルビーイング推進に欠かせない。同報告ではまた、人口高齢化に関する様々な対策についても論じている。従来の老年人口指数では急速な高齢化が示されるが、平均寿命の伸長を考慮した新たな指数では、高齢化プロセスのスピードは遅くなっている。女性は平均して男性よりも寿命が 4.8 年長い、今後は性差が縮小すると見込まれる。

- <https://www.un.org/development/desa/en/news/population/our-world-is-growing-older.html>
- <https://www.un.org/en/development/desa/population/publications/pdf/ageing/WorldPopulationAgeing2019-Highlights.pdf> (報告書ハイライト)

●世界:国連報告書「世界人口予測(World Population Prospects) 2019」 -今後数十年間も日本が最も高齢国

国連の世界人口予測 2019 年版が発表された。これによると、日本では 65 歳以上人口の割合が、現在の 28%から 2050 年には 38%に上昇する。一方で、同国の人口は同時期に 20%近く減少すると見込まれる。このような人口構造の変化によって今後、日本社会に根本的な課題がもたらされる。将来的には他の東南アジア諸国が、日本よりさらに速いペースで高齢化すると見込まれる。日本の経験に基づいて、これらの国々が独自の成功事例を展開していくよう、専門家は指摘する。

- <https://population.un.org/wpp/>

●世界:年金制度の世界ランキングでオランダとデンマークがトップに

高齢者の退職に備えた国の取り組みに関する世界調査では、オランダとデンマークで年金制度が最も優れていることが示された。この調査では、「adequacy(妥当性)」「sustainability(持続可能性)」「integrity(整合性)」という 3 つの側面から評価が行われた。上記 2 か国が総合で A ランクの評価を得た。続いてオーストラリアが B+の評価、B の評価はフィンランド、スウェーデン、ノルウェー、シンガポール、ニュージーランド、カナダおよびチリなどだった。多くのアジア諸国では前年よりも改善が見られたが、世界と比較すると、透明性や就労者による退職時への蓄えで評価が低かった。ちなみに日本のランクは「D」で、とくに「持続可能性」の点数が低かつ

た。

- <https://info.mercer.com/rs/521-DEV-513/images/MMGPI%202019%20Full%20Report.pdf>

●世界:2019 Global Retirement Index

不安定な経済から人口の高齢化、そして気候変動など、退職後の所得保障には多くの課題が存在しており、これらの問題は持続可能な社会へも影響をもたらす。The 2019 Global Retirement Index では、退職後の所得保障への 3 大脅威を明らかにしている。これらはすなわち、金利、人口動態および気候変動である。この報告ではまた、これらの要素が個人や組織にもたらす意味についても論じている。

- https://www.im.natixis.com/us/research/2019-global-retirement-index?utm_source=National_Seniors_Australia&utm_medium=Email&utm_campaign=Connect%20E-News&utm_content=Connect%20E-News%3A%20241019
- <https://www.im.natixis.com/us/resources/global-retirement-index-2019-report> (報告書)

●欧州:Eurostat 報告書「Ageing Europe」

2019 年 10 月、Eurostat は報告書「高齢化する欧州:EU における高齢者の生活 (Ageing Europe - looking at the lives of older people in the EU)」を発表した。この報告書では、欧州全体における高齢者の日常生活に関する最新データを集めており、政策立案者が高齢者のニーズを把握し、その社会的影響を評価し、適切な政策を展開するのに役立つ豊富な情報を提供している。この報告書では、以下の 6 章からなる。

- ◇ EU 加盟国の人口推移
 - ◇ 高齢者の住宅と生活状況
 - ◇ 健康と障害
 - ◇ 就労から退職への移行
 - ◇ 年金、収入および支出
 - ◇ 高齢者の社会生活と意見
- <https://www.age-platform.eu/publications/ageing-europe-looking-lives-older-people-eu-eurostat-2019-report>
 - <https://ec.europa.eu/eurostat/en/web/products-statistical-books/-/KS-02-19-681> (報告書)

●英国:認知症フレンドリーコミュニティ:職員の意識がサービスにもたらす影響

Age UK の認知症フレンドリープログラムに関する最近の調査では、スタッフやボラ

ンティアの意識が認知症の人へのサービスの種類に影響をもたらしていることが分かった。認知症の経験やサービスをより包括的にする方法について理解を深めるよう、スタッフやボランティア向けに研修プログラムを行った結果、以下のような変化が見られた。

- ◇ 運動セッションで色や音楽を使ったり、回想ボックスを使ったりして、認知症の人も既存の活動に参加しやすくなる工夫を始めた。
- ◇ 認知症の人ができることとできないことについての認識が高まり、その結果、認知症の人向けに特別な何かを企画する必要があると考えるのではなく、一般的な高齢者向けの活動に参加する呼びかけを行う自信がついた。

同 URL ではまた、認知症介護ガイドや認知症フレンドリーな自宅づくりのガイドもダウンロードできる。

- <https://www.ageuk.org.uk/discover/2019/october/dementia-friendly-communities/>

●英国: 育児や介護で休業する女性へ政府が年金を上乗せするよう提言

シンクタンク Social Market Foundation の報告は、寿命の伸長に伴う富の性差拡大に警鐘を鳴らしている。50 代後半の女性は平均して、年金貯蓄が同年代男性の約半分であり、その主な理由は低賃金と育児・介護による休業である。報告書では、育児休業中の女性を対象に、自動加入年金から 3%の最低拠出を適用するよう提案している。これにより、当該女性の年金原資に新たな政府拠出が年間 1,500 ドル以上充当される計算となる。

- <https://www.moneyobserver.com/news/government-told-to-top-pensions-women-who-take-care-kids-or-relations>
- <http://www.smf.co.uk/publications/gender-equality-100-year-life/>
- <http://www.smf.co.uk/wp-content/uploads/2019/10/Gender-equality-and-the-100-year-life-.pdf> (報告書)

●米国: 高齢消費者の詐欺被害が増加

連邦取引委員会 (FTC) による新たな報告書では、高齢者による 2018 年の詐欺被害が前年より増加していたことが明らかとなった。80 歳以上の人による被害額中央値は 1,700 ドルであり、これは前年から 55%上昇している。この上昇は主に、賞金などの詐欺や、家族や友人による詐欺行為が原因となっている。

- <https://www.foxbusiness.com/money/ftc-older-consumers-scams-fraud>
- <https://www.ftc.gov/news-events/press-releases/2019/10/ftc-report-congress-details-fraud-reports-older-consumers>
- <https://www.ftc.gov/system/files/documents/reports/protecting-older-con>

sumers-2018-2019-report-federal-trade-commission/p144401_protecting_o
lder_consumers_2019.pdf (報告書)



持続可能な開発目標 (SDGs) 関連情報

●世界:国連報告「国連グローバル・コンパクト進捗報告(UN Global Compact Progress Report) 2019」

この報告では、国連グローバル・コンパクトの会員企業がどのようにして 10 原則を採り入れ、SDG 実現に向けて取り組んでいるか、評価している。国連グローバル・コンパクト年次調査で集められたデータを基に、この報告では、持続可能性の重要トピックに関する企業の実績を評価するほか、気候やジェンダー平等の重要な問題についても掘り下げる。また、この 1 年間におけるグローバル・コンパクト・ローカルネットワークの活動も特集している。下記 URL から報告書をダウンロード可能だが、その際には登録が必要。

➤ <https://www.unglobalcompact.org/library/5716>

●持続可能な開発目標(SDGs)報告 2019 インフォグラフィックスによる概要の日本語訳が完成

下記ページでは、SDG 報告の概要を、インフォグラフィックスを用いて日本語で分かりやすく説明している。

➤ https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_report/